

2008



国立歴史民俗博物館 研究報告

「商売」を軸とした〈べてる〉との付き合いの技法 浮ヶ谷幸代

ポーランド民族学の歴史

およびポズナンにおける民族学環境 ヤツェク・スプリスガルト

棚田の灌漑システムからみた水利用と環境利用の多様性 西谷 大

弥生中期・栗林式土器編年の再構築と分布論的研究 馬場伸一郎

前方後円墳祭祀の論理 広瀬和雄

戦争を「民話」として語るということ 村山絵美

ナミビアの牧畜民ヒンバと土地のかかわり 吉村郊子

農家の兼業はいかにして続いてきたか 渡部鮎美

祭礼観光経済序説 宇野功一

洛中洛外図屏風歴博甲本の成立と初期洛中洛外図屏風諸本 小島道裕

『政事要略』所引『論語義疏』の性格について 高田宗平

世田谷のボロ市の発達史と現況 長沢利明

【資料紹介】

国立歴史民俗博物館蔵田中穰氏旧蔵『西行物語』 内田滯子

第145集
平成20年11月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第145集**

目次

「商売」を軸とした〈べてる〉との付き合いの技法——浮ヶ谷幸代…………… 1 北海道浦河町4丁目住民の精神障害者とともに暮らす事例から	
ポーランド民族学の歴史および——ヤツェク・スプリスガルト…………… 33 ボズナンにおける民族学環境	
棚田の灌漑システムからみた水利用と環境利用——西谷 大…………… 63 の多様性 多民族が暮らす雲南国境地帯を事例として	
弥生中期・栗林式土器編年の再構築と——馬場伸一郎……………101 分布論的研究 弥生交易論の可能性を視野に入れて	
前方後円墳祭祀の論理——広瀬和雄……………175 墳頂部の内方外円区画をめぐって	
戦争を「民話」として語るということ——村山絵美……………211 『現代民話考』の戦争にまつわる話をめぐって	
ナミビアの牧畜民ヒンバと土地のかかわり——吉村郊子……………229 その歴史と現在	
農家の兼業はいかにして続いてきたか——渡部鮎美……………253 農業と臨時雇いを兼業する人々の労働観	
祭礼観光経済序説 近世・近代における都市祭礼の経済構造——宇野功一…………… 275	
洛中洛外図屏風歴博甲本の成立と——小島道裕…………… 317 初期洛中洛外図屏風諸本	
『政事要略』所引『論語義疏』の性格について——高田宗平…………… 349	
世田谷のボロ市の発達史と現況——長沢利明…………… 373	
[資料紹介]	
国立歴史民俗博物館蔵田中穰氏旧蔵——内田滯子…………… 413 『西行物語』翻刻・附解題	

Contents:

UKIGAYA Sachiyo	———	The Way to Live with ‘Bethel’ (People with Mental Disabilities) in the Context of Business: A Case Study of Inhabitants in Urakawa Town in Hokkaido on Ethnographic Approach	1
SPLISGART Jacek	———	The History of Polish Ethnology and Poznan Ethnological Center	33
NISHITANI Masaru	———	Diversity in Water and Environment Usage in Rice Terrace Irrigation Systems: Case Study of the Multiethnic Yunnan Border Region	63
BABA Shin'ichiro	———	Reconsidering the Chronology of Pottery Styles of Mid-Yayoi, and Theories of Distribution: Putting into Perspective the Possibility of Yayoi Period Trading	101
HIROSE Kazuo	———	The Logic of Keyhole-Shaped Tomb Rituals: The Square-in-a-Circle Area Atop a Mound	175
MURAYAMA Emi	———	To Talk of War as “Folklore”: On Stories Concerning War Appearing in <i>Gendai Minwa Ko</i> (Thoughts on Modern Folklore)	211
YOSHIMURA Satoko	———	Land and People: the Case of Himba, Pastoral People in Namibia; Their History and Present	229
WATANABE Ayumi	———	The Meaning of Work in Rural Areas: Modern View of Work in Part-Time Employment	253
UNO Kouiti	———	The Introduction about the Festival and Tourist Economy: A Case Study of the Economic Structure of a Traditional Urban Festival	275
KOJIMA Michihiro	———	Production of the “Rekihaku A version” Rakuchu-Rakugai-Zu (scenes in and around Kyoto), and the early versions of Rakuchu-Rakugai-Zu	317
TAKADA Sohei	———	The Character of <i>Lunyu Yishu</i> Quoted in <i>Seijiyoryaku</i>	349
NAGASAWA Toshiaki	———	The Historical Development of Setagaya Boroichi (Rag Fair) in Tokyo	373
Reserch Materials			
UCHIDA Mioko	———	The “Saigyō Monogatari” in the Collection of the National Museum of Japanese History, Previously Owned by Minoru Tanaka: Republication with Bibliographical Notes	413

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項

- 1 国立歴史民俗博物館研究報告（以下「研究報告」という）は、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 2 研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - 一 国立歴史民俗博物館（以下「博物館」という。）の教職員（客員教員を含む。）
 - 二 運営会議委員
 - 三 名誉教授
 - 四 博物館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - 五 特別共同利用研究員のうち受入れ期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 博物館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 七 その他博物館において適当と認めたる者
- 3 原稿を寄稿する場合は、論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、博物館の研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という）において行う。
- 4 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳か抄訳を付ける。
- 5 特殊な文字、記号、印刷方法が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
- 6 寄稿する論文には、800字以内の日本語要旨と400語程度の英語要旨を付けるものとする。また、5項目以内のキーワードを付ける。
- 7 寄稿する原稿の分量は40頁以内に収めること。その内、写真・図版等は論文表現のうで必要最小限にとどめ、10頁をこえないこと。また、写真・図版等は掲載箇所を指示し、大きさを指定すること。カラー頁は原則として認めない。なお、編集委員会の判断により、全体の分量等の関係から圧縮や分割掲載を指示する場合がある。

1頁あたりの構成：縦書 32字 27行 2段
横書 44字 37行 1段

文字の大きさ : 13Q
大きさの目安 : 版面 横169mm×縦237.5mm（最大）
- 8 写真・図版等の掲載に関する許諾は寄稿者がとること。
- 9 寄稿の際は打ち出し原稿3部及びFD、CD等電子媒体1部を添付すること。
- 10 寄稿された原稿は、編集委員会において査読者を定め、審査のうえ、採否を決定する。
- 11 博物館で作成する抜刷は、100部までとする。
- 12 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 13 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会（代表電話 043-486-0123）

[国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会]

館外委員 (五十音順)

池 享 一橋大学経済学研究科
設 楽 博 己 駒澤大学文学部
福 原 敏 男 日本女子大学人間社会学部
丸 山 伸 彦 武蔵大学人文学部

館内委員

高 橋 一 樹 歴史研究系
藤尾慎一郎 考古研究系 (編集委員長)
宮 田 公 佳 情報資料研究系
山 田 慎 也 民俗研究系
安 田 常 雄 歴史研究系 (研究推進センター長)

国立歴史民俗博物館研究報告 第145集



平成20年(2008)11月30日 第1版第1刷発行

編 集



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

発行所



財団法人 歴史民俗博物館振興会

〒285-0017 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-8011

国立歴史民俗博物館内

<http://www.rekishin.or.jp/>

定価 2,191円 + 税

印刷・製本所



株式会社ハシダテ

〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港116-1 ☎043-243-3311(代)

[装丁] 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History



The Way to Live with 'Bethel' (People with Mental Disabilities) in the Context of Business :
A Case Study of Inhabitants in Urakawa Town in Hokkaido on Ethnographic Approach
UKIGAYA Sachiyo

The History of Polish Ethnology and Poznan Ethnological Center
SPLISGART Jacek

Diversity in Water and Environment Usage in Rice Terrace Irrigation Systems : Case Study of the Multiethnic Yunnan Border Region
NISHITANI Masaru

Reconsidering the Chronology of Pottery Styles of Mid-Yayoi, and Theories of Distribution :
Putting into Perspective the Possibility of Yayoi Period Trading
BABA Shin'ichiro

The Logic of Keyhole-Shaped Tomb Rituals : The Square-in-a-Circle Area Atop a Mound
HIROSE Kazuo

To Talk of War as "Folklore" : On Stories Concerning War Appearing in *Gendai Minwa Ko* (Thoughts on Modern Folklore)
MURAYAMA Emi

Land and People : the Case of Himba, Pastoral People in Namibia ; Their History and Present
YOSHIMURA Satoko

The Meaning of Work in Rural Areas : Modern View of Work in Part-Time Employment
WATANABE Ayumi

The Introduction about the Festival and Tourist Economy : A Case Study of the Economic Structure of a Traditional Urban Festival
UNO Kouiti

Production of the "Rekihaku A version" Rakuchu-Rakugai-Zu (scenes in and around Kyoto), and the early versions of Rakuchu-Rakugai-Zu
KOJIMA Michihiro

The Character of *Lunyu Yishu* Quoted in *Seijiyoryaku*
TAKADA Sohei

The Historical Development of Setagaya Boroichi (Rag Fair) in Tokyo
NAGASAWA Toshiaki

Research Materials

The "Saigyō Monogatari" in the Collection of the National Museum of Japanese History, Previously Owned by Minoru Tanaka :
Republication with Bibliographical Notes
UCHIDA Mioko

ISSN 0286-7400

vol. 145
2008